

Parité wave

パリテウエーブ
from FUKUOKA

2023年10月 第8号

福岡から女性が政治を変える

女性のための政治スクール修了生

15人が統一地方選挙で当選しました

「変化をもたらす女性の力」公開講座

I 岸本聡子 東京都杉並区長

II 三浦まり 上智大学教授



Parité wave from FUKUOKA

2023年10月 第8号

もくじ

- p.2 **公開講座 II 2023統一地方選の課題と展望**
上智大学法学部教授 三浦まりさん
- p.3～8 **女性のための政治スクール修了生15人が当選しました**
- p.9 **統一地方選挙の福岡県内結果**
- p.10 **福岡県内で2027年までに予定の地方議会議員選挙日程**
- p.11、12 **公開講座 I 住民のための政治訴え区長に**
東京都杉並区長 岸本聡子さん
- p.13 **女性議員へのハラスメントにどう対応すべきか**
～飯塚市議会の不適切発言から考える～

統一地方選挙を振り返って

パリテウエーブは2019年春の統一地方選挙直前に創刊し、「女性議員を増やしたい」という思いで続けてきました。23年の統一地方選挙で、福岡県内だけでなく日本各地で女性議員が増え、今回の選挙の主役は「女性」だったと感じました。東京都杉並区では、岸本聡子区長（11、12ページ参照）が多くの女性候補者を応援。それもあって、女性議員の数が改選前の15人から25人に増え、割合は52.1%になったそうです。杉並区を含め全国で9つの市区町村で女性議員の割合が50%を越えたことは、女性議員増を目指す私たちにとって大きな勇気となりました。

3～8ページに今回の統一地方選挙で当選した人たちの体験談を特集しています。いずれも「福岡・女性議員を増やす会」主催の「女性のための政治スクール」の修了生から議員を目指した女性たちです。寄せられた原稿を読んで「人の数だけドラマがある」と実感しました。議員を目指す人にとってヒントになればと願っています。

Parité wave from FUKUOKA

（パリテウエーブ）

編集長 山川 美幸



パリテ (Parité) とは…

「同等、同一」を意味するフランス語。フランスで導入されている、議員立候補者を同数にする法律「パリテ法」から、「議員の男女同数を目指す波を福岡から起こす」という願いを込め、名付けました。

変化をもたらす女性の力Ⅱ※1

2023統一地方選を受けて～課題と展望～



講師：三浦 まり さん

上智大学法学部 地域環境法学科教授、一般社団法人バリテ・アカデミー 共同代表。政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟アドバイザーとして、2018年政治分野における男女共同参画推進法成立に貢献。21年フランス国家功労勲章シェバリエ受賞。

2023年4月の統一地方選挙で、女性候補者も当選者数も過去最多となり、女性が躍進した選挙でした。とはいっても、地方議会の4割が女性議員の数がゼロか1人という「ゼロワン議会」です。女性議員を増やすためどうしたらいいのか、福岡・女性議員を増やす会では講師に三浦まりさんを招き、公開講座「変化をもたらす女性の力Ⅱ」（23年7月22日）を開催しました。講演要旨を紹介します。

統一地方選挙の結果、鹿児島・岡山・香川・京都の各府県議会で女性議員の割合が2割を越え、大分を除く九州各県議会で女性議員が増加しました。女性躍進の背景には地域の女性ネットワークの存在があり、女性を後押ししています。そして女性議員が増えた議会においては議会改革が進んでいますが、まだ少数です。

政治が生活と密接につながっているにも関わらず、無関係と考える人が多いのは、政治が遠い存在になっているからです。選挙ボランティアなど身近なところから女性の政治参加を促すことにより、新しい選挙運動や政治スタイルの実現につながっていくと考えます。「政治って、面白い!」ということを周囲の人に伝えること、特に若い世代に訴えていくことが投票率向上につながり、長年続く「男性政治」への無関心を絶ち、「男性政治」脱却への大きな一歩になると思います。

ただ、女性というだけで厳しい評価を受けてきた経験から、自分に自信が持てない「インポスター症候群」になる女性も少なくありません。ハラスメント被害も後を絶ちません。研修の

義務化や信頼できる相談窓口の設置など包括的に守る枠組みが必要です。都道府県ごとの男女平等の実態は、「地域からジェンダー平等研究会」の※2「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」からも分かります。あらゆる案件にジェンダーの視点が必要であるにも関わらず、変わらない「男性政治」を問題視し、国の在り方を変えようと変革をもたらす人材を増やしていくことが重要です。

私たちに

できること

女性候補者・議員を応援しよう！

- ・選挙ボランティア、議会傍聴、発信

ハラスメント根絶条例を作ろう！

要望を政党地方組織に届けよう！

制度を変えよう！

- ・政党交付金の減額措置
- ・1人区（小選挙区）の縮小

無意識の偏見をチェックしよう！

※1「公開講座 変化をもたらす女性の力Ⅰ」は11、12ページに紹介

※2「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」で検索

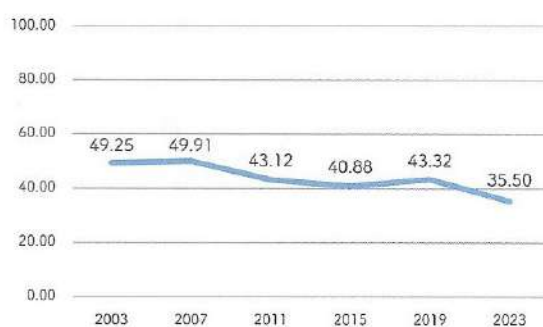
トピック

低い投票率

2023年春の統一地方選の特徴の一つに、投票率の低さが挙げられます。4月9日の福岡県議選では男性34.77%、女性36.14%、計35.50%でした。最も投票率が高かったのは70代男性の53.66%、最も低かったのは20代男性の16.67%となっています。年齢階層別にみると20代の投票率が最も低く、年代が上がるにつれて投票率が上がっていく傾向になっています（10代の投票率は20代より高かった）。

福岡市議選でも投票率は35.50%と、前回19年の43.32%に比べて7.82ポイントも下がりました。選挙は民主主義の根幹です。自分の一票が、未来の日本をつくる第一歩となることを、今一度、胸に刻みたい。

福岡県議会議員選挙における投票率の推移

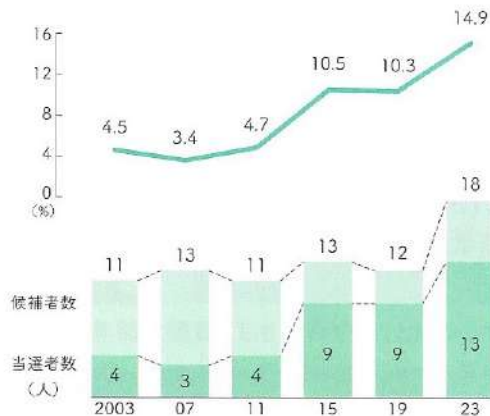


※グラフは福岡県選挙管理委員会作成「選挙の記録」を基にPW編集部が作成

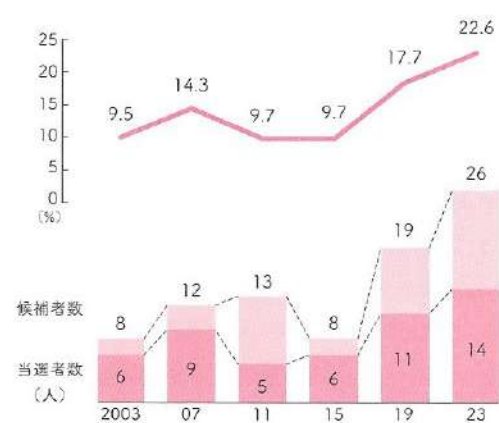
2023 年統一地方選挙における 福岡県内の結果

今回の統一地方選挙を経て、都道府県議会での女性議員の割合は全国平均11.8%から14.0%となりました。九州の各県議会では、鹿児島で9.8%→21.6%（11人）、長崎では13.0%→15.2%（7人）に増えました。熊本県では1人だった女性議員が5人になっています。

福岡県議選の女性立候補者数と当選者数推移



福岡市議選の女性立候補者数と当選者数推移



※グラフは福岡県選挙管理委員会作成「選挙の記録」を基にPW編集部が作成

女性議員33.3%で福岡県内トップ／篠栗町議会

2023年統一地方選の結果、福岡県内では春日市・大野城市・篠栗町の3議会で女性議員が3割を超えました。特に篠栗町議会（定数12）は、女性議員が改選前の1人から4人、割合は33.3%となり、県内の議会トップです。一位で初当選を果たした崎山佐穂議員は最年少の33歳で3児の母親です。女性議員が増えてどう変わっていくのか、篠栗町政に注目です。

2023年統一地方選挙における市町議選の女性当選者数と割合

	定数	女性議員数		割合
		2019	2023	
福岡市	62	11	14	22.6%
大牟田市	24	6	6	25.0%
久留米市	36	6	6	16.7%
直方市	19	2	2	10.5%
飯塚市	28	1	1	3.6%
田川市	18	2	2	11.1%
八女市	22	2	2	9.1%
筑後市	17	3	3	17.6%
大川市	14	3	3	21.4%
筑紫野市	22	3	4	18.2%
春日市	20	5	6	30.0%
大野城市	20	5	6	30.0%
古賀市	19	4	4	21.1%
嘉麻市	16	0	1	6.3%
朝倉市	18	3	3	16.7%

	定数	女性議員数		割合
		2019	2023	
篠栗町	12	1	4	33.3%
志免町	14	3	4	28.6%
須恵町	13	1	2	15.4%
新宮町	12	3	2	16.7%
芦屋町	12	1	1	8.3%
水巻町	14	3	4	28.6%
岡垣町	13	2	3	23.1%
遠賀町	13	1	1	7.7%
鞍手町	13	2	3	23.1%
大木町	12	2	1	8.3%
糸田町	12	1	1	8.3%
川崎町	16	3	4	25.0%
大任町	11	0	0	0.0%
みやこ町	14	1	2	14.3%
吉富町	10	1	1	10.0%

福岡県内で 2027 年までに予定される 地方議会議員選挙の日程

福岡県内60の市町村(29市、29町、2村)で、今後4年間に予定されている福岡県内の市町村議選は表の通りです。さらに議会解散などで突然、選挙が行われることもあります。

福岡県における市町村議会議員の任期満了一覧

(県選管調べ、2023年8月14日現在)

			定数	女性 議員数
2023 (令和5)	9月	大刀洗町※	12	1
	10月	苅田町※	16	2
	12月	広川町	13	1
2024 (令和6)	4月	行橋市	20	3
		豊前市	13	2
	10月	宗像市	20	3
2025 (令和7)	2月	北九州市	57	12
	3月	那珂川市	17	4
		香春町	13	1
	4月	粕屋町	16	2
	7月	中間市	16	3
		赤村	10	0
	9月	久山町	10	0
	12月	太宰府市	18	4

※大刀洗、苅田両町議選は2023年9月24日に施行されました。
(女性議員数は改選前のもの)

			定数	女性 議員数
2026 (令和8)	2月	糸島市	20	3
	3月	宮若市	16	1
		宇美町	12	1
	4月	うきは市	14	1
		東峰村	10	1
	5月	小郡市	18	4
	7月	添田町	11	2
	10月	柳川市	19	1
	11月	桂川町	10	1
	12月	小竹町	12	3
2027 (令和9)	1月	福津市	18	4
		筑前町	13	2
	2月	上毛町	12	0
	4月	統一地方選挙		
		福智町	18	2
	7月	みやま市	16	3
		築上町	14	0

トピック

福岡県女性議員ネットワークが30周年を迎えました

福岡県内の超党派の女性県・市町村議会議員でつくる「福岡県女性議員ネットワーク」(会長・石田まなみ福津市議会議員、74人)が創立30年を迎え、2023年7月28日、福岡市で記念イベントトークと研修会などを行いました。

イベントトーク(写真)では、同ネット発足当時の中心メンバーだった古賀恭子さん(元春日市議会議員)、多田悦子さん(元甘木市議会議員)、藤田一枝さん(元衆議院議員、元県議会議員)、星野美恵子さん(元福岡市議会議員)がパネリストとなり、発足当時の思いなどを語りました。93歳の多田さんは「自分のやっていることに自信を持つこと」と女性議員にメッセージを送りました。研修会では、20～30代女性の自治体選挙の立候補予定者を応援する「FIFTYS PROJECT」の能條桃子さんが「世代をつなぐ女性議員のチカラ」をテーマに講演しました。

女性の政治参画が叫ばれだした1990年代。同ネットは県内の女性議員が結束し、男女共同参画を推進することなどを目的に94年1月に発足。研修会などの活動を続けています。



変化をもたらす女性の力Ⅰ※1

住民のための政治訴え 杉並区長に



岸本 聡子 さん

2022年6月実施の杉並区長選挙で初当選。長年環境問題などに取り組んできた実績があり、区民らが結成した「住民思いの杉並区長をつくる会」が擁立、現職を破り激戦を制した。

2.3%。これは全国自治体の首長に占める女性の割合です（2021年末現在、総務省調べ）。政治分野における女性の進出が世界でも極端に低い日本の中でも、女性首長への道は極めて険しいことが分かります。そんな中、2022年6月の東京都杉並区長選で岸本聡子さんが現職を破って初当選を果たしました。立候補表明からわずか2カ月の快挙でした。福岡・女性議員を増やす会は岸本さんを招いた公開講座「変化をもたらす女性の力」（23年1月28日、オンラインで）を開催しました。講演要旨を紹介します。

「ひとり街宣」で広がる支援

立候補要請は「住民思いの杉並区長をつくる会」からでした。住民の声を十分に聞かぬまま、都市計画道路や公共サービスの民営化などが進み、情報公開も不十分という区政に疑問を持った人たち

です。同会が作成した地域の声を集めた政策の草案があったので住民の思いと共に戦うことができました。

資金の大半は一人1000円の賛同金で、住民手づくりの選挙戦でした。私が目指すのはユニシティズム（市民参加型民主主義）。SNSなども積極的に活用しました。街に立ち、皆さんの声を聞き、対話して思いを認知してもらえるよう

努めました。しかし、どんなに頑張っても自分の身はひとつです。そんな時、支援者の若手女性が駅前での「ひとり街宣」を提案してくれました。支援者自身が街頭に立ち、それぞれ自分の言葉で私の政策を訴えるというものです。



オンラインで講演する岸本聡子区長（右下）。区長選挙の活動を紹介した。

ムーブメント起こして勝利

結果的にはこの活動が大きな力となり、特に女性が積極的に支援してくれるようになりました。共感が共感を呼び、その輪は自然と広がり、熱量が増す、そうしたムーブメントが起きたことが勝利の大

※1「公開講座 変化をもたらす女性の力Ⅱ」は2ページで紹介

きな意味だと思います。ムニシパリズム実現の大きな一歩となりました。これまで選挙にかかわったことのない人達が知恵や力を出し合う。これこそ選挙の面白さであり、本来あるべき姿ではないでしょうか。

ともに選挙を戦った女性たちの中から区議選に立候補する決意をした人がいます。大変うれしく思うとともに、このような女性候補者を支える活動も積極的に続けながら、変化をもたらす女性の力を応援していきます。

福岡県小竹町に元NPO法人事務局長の女性町長誕生



福岡県小竹町で2022年12月、24年ぶりに町長選挙が行われ、NPO法人で事務局長をしていた井上頼子さん(60)が当選しました。井上さんは自身の子育てが落ち着いたころ、小学校教諭だった経験を生かし地元の学童保育の支援員に。学童支援員の資質向上のための研修を受託する「NPO法人学童保育協会」、ファミリーサポート事業を運営する「NPO法人リトルバンブー」の

設立運営にかかわりました。町の行財政改革推進員にも選ばれ、町の課題に向き合うことになります。

町長が退任を表明し、町長候補として井上さんに白羽の矢が立ちました。とはいえ選挙の素人ばかり。そこで同じNPOの活動仲間で、「女性のための政治スクール」修了生でもある福岡県糸島市議会議員の佐藤倫子さんからアドバイスを受け「選挙でやった方が良かったと言われたことを全部やった」そうです。

井上町長は「女性が地域政治に関わることで一番大きな変化は、政策への視点が変わることです。人口約7000人の小竹町は多くの自治体同様、少子高齢化や人口減少の課題を抱えています。まずは子育て支援を充実させる。これまでとは異なる視点が入ることで議論が活発になり、より良い町に変わっていくと信じています」と話しています。



女性議員へのハラスメントに どう対応すべきか？

～飯塚市議会の不適切発言から考える～

2023年5月30日に開かれた福岡県飯塚市議会の協働環境委員会（人権、男女共同参画、まちづくり、環境整備など所管）での発言が不適切だとして大きな問題となりました。質問に立った男性市議（35）が、市の男女共同参画推進の広報動画の再生回数を増やすため「（市議会で唯一女性である金子加代市議が）セーラー服を着てしゃべれば増える」と発言したのです。

議長、委員長、男性議員に抗議

傍聴席で発言を聞いていた金子市議は委員会終了後、所属する会派に発言内容を報告。さらに不適切発言の1週間後、金子市議は議長、委員長、発言した男性議員の3者に対し、公的な場で委員長と男性議員が謝罪すること、全議員が男女共同参画研修を受けることなどを求めた抗議文を提出しました。男性市議は6月議会の開会冒頭で、委員長も7月の委員会冒頭で謝罪をしました。



飯塚市議会本会議場（同市議会HPより）



金子 加代 市議

県にも通報

23年4月、福岡県議会関係ハラスメント根絶条例が施行されました。金子市議は同条例に基づき、福岡県議会事務局に調査を依頼しました。県議会から紹介された弁護士に相談。弁護士から飯塚市議会議長宛てに助言の通知文が送られました。市議会は7月末に男女共同参画についての研修会を開催しました。

素早い対応と問題の可視化が重要

県条例に基づき調査を依頼された弁護士が当該市議会議長に宛てた助言通知文には「加害議員一人の問題ではなく、議会関係者全体のジェンダー及びハラスメントについての理解認識不足が感じられ…」と指摘しています。

研修会の講師を務めた中嶋玲子・福岡県議会議員は「声をあげるのは大変勇気がいること。金子市議は他に声をあげられない女性たちを知っているからこそ、声をあげた」と、ハラスメントに対し毅然とした態度を取ることがいかに重要であることを強調しました。

「福岡・女性議員を増やす会」理事で元衆議院議員の藤田一枝さんは「改正候補者男女均等法は、議会に対してハラスメント防止の責務を課していますが、女性候補者・議員は広くハラスメントに晒される危険があります。その場合は今回のように、関係機関などに相談をして、適切な素早い対応を取るとともに、問題を可視化させることが大切です」と話しています。